

市民・事業者における削減目標設定の考え方

- ・ 国・県の目標や本市の現状を踏まえ、目標値を設定
  - 市民に係る排出部門：主に家庭部門と、運輸部門の約65%
  - 事業者に係る排出部門：主に産業部門・業務部門と、運輸部門の約35%

【国における分野別削減目標値】 単位：100万t-CO<sub>2</sub>

ガス・部門	2013年度	2019年度	2030年度	
	排出量	排出量	排出量	(2013年度比)
二酸化炭素	1215	1021	691	▲43%
産業	463	384	289	▲38%
民生（業務）	238	193	116	▲51%
民生（家庭）	208	159	70	▲66%
運輸	224	206	146	▲35%
非エネ（廃棄物等）	82.3	79.2	70	▲15%

事業者：約40%削減  
国民：約55%削減

【県における分野別削減目標値】 単位：万t-CO<sub>2</sub>

ガス・部門	2013年度	2018年度	2030年度	
	排出量	排出量	排出量	(2013年度比)
二酸化炭素	1946	1744	973	▲50%
産業	574	533	335	▲42%
民生（業務）	343	257	109	▲68%
民生（家庭）	316	252	88	▲72%
運輸	465	436	251	▲46%
非エネ（廃棄物等）	248	266	190	▲23%

事業者：約50%削減  
県民：約60%削減

【市における分野別削減目標値（仮）】 単位：万t-CO<sub>2</sub>

ガス・部門	2013年度	2019年度	2030年度	
	排出量	排出量	排出量	(2013年度比)
二酸化炭素	396.0	359.4	194.5	▲51%
産業	110.9	106.3	80	▲30%
民生（業務）	96.2	80.9	35	▲65%
民生（家庭）	78.3	68.8	25	▲70%
運輸	104.1	97.3	50	▲50%
廃棄物	6.5	6.1	4.5	▲30%

事業者の目標値は、産業部門の温室効果ガス排出のうち大部分を占める製造業の事業所数の割合が県よりも低いという状況を踏まえ、県に比べ削減率を低く設定

事業者：約45%削減  
市民：約60%削減

- ※ 市民の排出量推計値は、家庭部門及び運輸部門の65%で総計
- ※ 事業者の排出量推計値は、産業部門、業務部門及び運輸部門の35%で総計
- ※ 運輸部門の内訳

【運輸部門】	自動車 97.8%			鉄道 2.2%
【自動車】	旅客 64%		貨物 33.8%	
【旅客部門】	自家用車 62.6% 【市民】		バス 1.4% 【事業者】	

【参考】分野別削減目標値の内訳（仮）

単位：万 t-CO<sub>2</sub>

ガス・部門	2013年度	2019年度	2013→2019	2030年度目標		2019→2030 必要削減量	2013→2019 削減実績 との比較
	排出量	排出量 (構成比)	削減量 (削減率)	㊦ 排出量 (削減率)	㊧ 排出量 (削減率)		
二酸化炭素	396.0	359.4 (100%)	36.6 (9.2%)	280.7 (29.1%)	194.5 (51%)	約165万t	
産業	110.9	106.3 (30%)	4.6 (4.1%)	71.3 (35.7%)	80 (30%)	約25万t	約5.5倍
民生(家庭)	78.3	68.8 (19%)	9.5 (12.1%)	51.4 (34.3%)	25 (70%)	約45万t	約4.5倍
民生(業務)	96.2	80.9 (22%)	15.3 (15.9%)	61.6 (36.0%)	35 (65%)	約45万t	約3倍
運輸	104.1	97.3 (27%)	6.8 (6.5%)	91.8 (11.8%)	50 (50%)	約50万t	約7倍
廃棄物	6.5	6.1 (2%)	0.4 (6.2%)	4.6 (29.2%)	4.5 (30%)	約1.5万t	約4倍
その他ガス	22.0	29.7	▲7.7 (▲35%)	27.8 (▲26.4%)	15 (30%)	約15万t	-
森林吸収	-	-		▲3.3	-		
合計	418.0	389.1	28.9 (6.9%)	305.2 (27.0%)	209.5 (50%)	約180万t	約6倍